



# IB 通信 2月号

2023 年度-NO.6



## 2023 年度 公開研究授業を終えて



育英西中学校  
中学主任 本村文枝

1月30日（火）午後から、育英西中学校・高等学校の両方で公開研究授業を開催しました。午後から公開授業に参加してくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。この会は、コロナ禍での中断を経て、昨年度も同様に同じ時期に実施をしました。育英西中学校では「自立女子」・「IB ガール」になるために皆さんは様々な活動に取り組んでいますね。先生たちも学校での探究的な学びを通じて、主体的に行動できる人材、他者を巻き込む行動の核となる人材を育てるプログラム開発をめざしています。今回は「Creativity あふれる教室～好奇心から問いは生まれる～」をテーマに高校も含めて6つの授業が展開されました。

### ◆研究授業

|                      | 中学 MYP            | 高校 A                  | 高校 B                      |
|----------------------|-------------------|-----------------------|---------------------------|
| 公開授業①<br>12:30～13:15 | 体育（体育館）<br>J1-2   | シナジータイム<br>（エウレカ）S1-5 | 英語コミュニケーションⅡ（305）<br>S2-1 |
| 公開授業②<br>13:25～14:10 | 理科 2（化学室）<br>J2-2 | 文学国語（205）<br>S2-4     | 数学Ⅱ（203）<br>S2-2          |



今回の研究会には、全国各地から57名の中学校・高等学校・大学の先生方、学生の皆さん、また企業の方など様々な方面のお客様をお迎えしました。IB教育の実践校としての皆さんの授業を見学したいと思っておられた方も多く、本校への注目の高さがわかり、先生たちも驚きました。

以下は本校の教育実践を紹介するページから抜粋したものです。皆さんが日ごろから意識していること、頑張っていることは見つかりますか？改めて、読んでほしいと思いましたので、ここに掲載しておきます。

### 「育英西中学校・高等学校 教育の特徴」

世界に拓げる（グローバル教育）、仲間と高めあう（協働学習）、自分らしく輝く（女子教育）を高次に融合・実践することが教育プログラムの根幹となっています。

これからの時代を生きるためには、さまざまな力が必要です。学校でこそ経験できる、教科学習、教科の枠を超えた探究科目、クラス行事、学校行事、進路を考えることなど多種多様な場面を生かしてこうした力を育てていきます。



## IB の授業実践 伏江先生 & 荒木先生

### 伏江先生 (Science : 理科)

| 理科2       | ユニットタイトル                                         | 重要概念 | 関連概念             | 分野、題材    |
|-----------|--------------------------------------------------|------|------------------|----------|
| 中学2年(化学室) | ちりも積もれば巨大な気象現象へ                                  | 関係性  | 機能、バランス<br>エネルギー | 気象、雲のでき方 |
| 担当者 伏江勝久  | 探究のテーマ<br>身近で観察できる小さな事象は、世界を包みこむ大きな事象と密接なかわりを持つ。 |      |                  |          |

いつも面白い授業実践の伏江先生  
の理科室からは、時々笑い声が起  
り、普段通りの楽しい授業になりまし

た。見学に来られた大学の先生からの感想を紹介します。「何度も雲を作る実験を繰り返すうちに、どっちが雲なの？そもそも雲って何？という本質的な問いに生徒たちが迫っていったことが印象的でした。また、班で自然に声を掛け合って役割分担を素早くしていたことに驚きました。この繰り返し、何でもできる生徒を育てるのだと思いました。」



| 保健体育      | Build my body!                           | 変化 | 関連概念  | 分野、題材            |
|-----------|------------------------------------------|----|-------|------------------|
| 中学1年(体育館) |                                          |    | 改良、動き | 体づくり運動<br>(なわとび) |
| 担当者 荒木真由美 | 探究のテーマ<br>分析・改良することは、パフォーマンスに大きな変化をもたらす。 |    |       |                  |

### 荒木先生 (PE:保健体育)

当日は体育館の中で、荒木先生の明るく爽やかな声が響きました。1年生の皆さんが一生懸命縄跳びの技に挑戦する姿に、見学の大人たちも大興奮で盛り上がりました。「初めてハヤブサをたくさん飛ばした!!!」と喜んでいた生徒もいて、皆さんの可能性は本当に無限大だと感じました。そして同じく大学の先生からの感想です。「失敗の原因を分析することで成功につながるということを一人一人が実感しながら、授業に熱中している姿が印象的でした。」



そのほかにも見学者の方々から多くのお褒めの言葉を頂きました。他にも数点紹介しておきます。

「生徒が自分自身の成長を喜び、周りと共に喜びあっている姿がいいと思いました。」

「観察した内容を他の物事にあてはめて、楽しく思考スキルが鍛えられそうだと感じました。」「自分が知っている体育の授業よりも、自分のことを知り考える時間が多くあったと感じた。」

「学習成果の発表の中にスキルや10の学習者像が盛り込まれていて、驚きました。」

「タブレットが授業の中で効果的に使えている。」「自分たちが他者に何かを伝えるとき、論理的に相手に伝えることを意識的に指導していると思いました。」



### 保護者の皆様へ

IB ワールドスクールに認定されてからは、2度目の公開授業となりました。今年度も大変たくさんのお客様にご参加いただき、生徒の皆さんの良いところをたくさん見つけていただく機会になったと思っています。

1年間、IBの教育活動にご理解とご協力を賜りありがとうございました。あどけなさの残っていた1年生、先輩になった2年生、最終学年の3年生とそれぞれ実りのある1年間を過ごしてくださいました。4月にまた、新しい環境で進化した新しい学びの姿を見せてくださることを期待しています！今後とも育英西の教育活動に、応援をよろしくお願いいたします。